



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.17)

平成21年度東京事業所方針について

新年度を迎えて、4月1日にJESCO及び運転委託会社社員が集まり、「平成21年度JESCO東京事業所方針確認大会」を開催いたしました。

当日は東京事業所長より、平成21年度東京事業所方針に係る4項目の趣旨説明があり、この方針に基づいてPCB廃棄物処理事業を安全確実に推進するように事業所及び運転委託会社社員一同に周知、徹底を図りました。

今年度も、これまで以上に安全な操業を心がけ、関係者の方々のご期待に応えられるよう事業所社員等一同、より一層の努力を続けていくことを再確認いたしました。

平成21年度 JESCO東京事業所方針

1. **安全で信頼される操業の基盤となる体制の確立**
2. **安定操業の確保と処理能力の向上**
3. **コンプライアンスに基づく事業運営の推進**
4. **心と体が健康で明るい事業所を目指す**

平成21年4月
日本環境安全事業(株)
東京事業所長 太田 政信



PCB廃棄物処理事業検討委員会東京事業部会と 東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会について



東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会の様子

平成21年2月27日にPCB廃棄物処理事業検討委員会東京事業部会（主査：永田勝也早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授）を、また3月10日に東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会（委員長：中杉修身上智大学大学院教授(当時)）を開催し、平成20年度後期に係る、東京PCB廃棄物処理施設の稼動状況及び設備トラブル等について報告いたしました。

各委員からは、トラブルの原因及び対策、地域住民の方々に対する情報提供等の広報の重要性等についての具体的な助言をいただきました。

環境マネジメントシステム (ISO14001) の構築をスタートしました。

東京PCB廃棄物処理施設では、国際的な環境マネジメントシステムであるISO14001の認証取得に向けて環境管理システムの構築を図るため、本年1月29日にキックオフミーティングを行い認証登録に向けて作業をスタートしました。

現在、環境管理文書や環境影響の評価などISO14001の基本となる部分の構築を進めており、この7月からは東京PCB廃棄物処理施設の環境安全方針に基づく環境管理システムの試行を開始し、平成22年3月までにISO認証機関の審査を受け、平成22年5月までに認証登録を完了する計画です。

当施設はISO14001の認証を取得しこれを適切に維持することにより環境管理の更なる向上を目指しています。

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当処理施設の平成21年1月～3月の処理実績は下表のとおりです。現在高濃度PCB廃棄物、低濃度PCB廃棄物とも順調に処理が進んでいます。

高濃度・低濃度区分	廃棄物種類	1月～3月 処理台数	操業開始からの 処理累計
高濃度PCB廃棄物	トランス類	74台	436台
	コンデンサ類	595台	3,890台
	安定器	0個	約11,800個
低濃度PCB廃棄物	柱上トランス絶縁油	407.2kl	4,488.6kl

*高濃度PCB廃棄物については処理に着手した台数を処理台数としています。

*連結コンデンサは内部に複数のコンデンサがあった場合も、1台としてカウントしています。

*東京事業所に係る安定器等の受入については、現在停止しております。

処理済物の払出しについて

東京PCB廃棄物処理施設では、トランスやコンデンサなどの電気機器から廃PCB油を抜き、残った容器等を解体して無害化され再利用可能な処理済物についてはリサイクルを行っています。その際、売却可能な材質（鉄、銅、アルミなど）は、入札をして、売却先業者を決めています。

平成20年度のリサイクル物は、鉄265トン、銅33トン、アルミ17トンなどを有価で払い出しており、無害化処理したPCB廃棄物を少しでもリサイクルできるように努力しております。



リサイクル物(鉄)の払出しの様子

東京PCB廃棄物処理施設の定期点検について

当施設では機器の法定検査や性能維持のために毎年定期的に点検を行っています。今年度も低濃度処理プラントについては4月20日から約1ヶ月半、高濃度処理施設についても5月半ばから約1ヶ月の定期点検工事を実施いたします。この期間はPCB廃棄物の受入・処理を中止いたします。定期点検工事の詳細については次号（平成21年7月）にてご報告させていただきます。

また、東京PCB廃棄物処理施設では、定期点検期間中も見学(火曜日、木曜日)を受付けておりますので、ご希望の方は随時ご連絡ください。

環境モニタリングシステムについて

東京PCB廃棄物処理施設では、PCBの外部への排出を監視するために、3種類のモニタリング装置による監視システムを運用しています。

- ①処理施設内換気及び装置用局所排気を監視する「排気中PCBモニタリング装置」
- ②PCBを分解する水熱酸化分解処理装置より排出される排水をモニタリングする「排水中PCBモニタリング装置」
- ③コンデンサ・トランス類容器洗浄後の卒業判定用の「ガスクロマトグラフ質量分析装置」

なお、定期点検期間中はPCB廃棄物処理を停止するのに併せて、これら環境モニタリングシステムの性能維持確認も合わせて実施されます。点検による停止期間中は排気中のPCBについては手分析により監視しています。



手分析によるPCB濃度測定分析のための前処理工程



前処理終了後、PCB濃度を測定する様子



溶剤中自動サンプリング装置



日本環境安全事業株式会社 東京事業所
〒135-0064 江東区青海二丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）

TEL 03-3599-6023

<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.html>